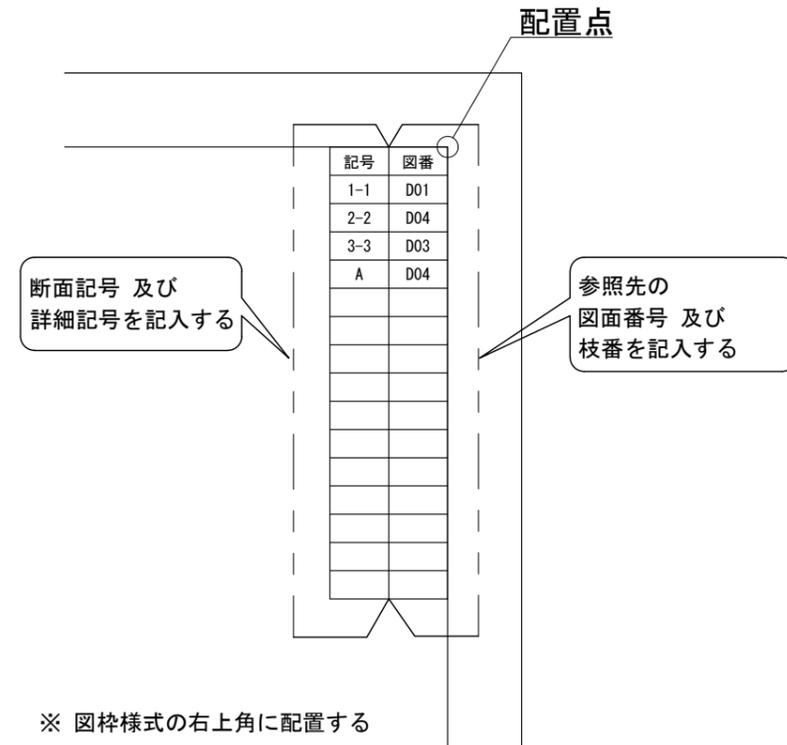
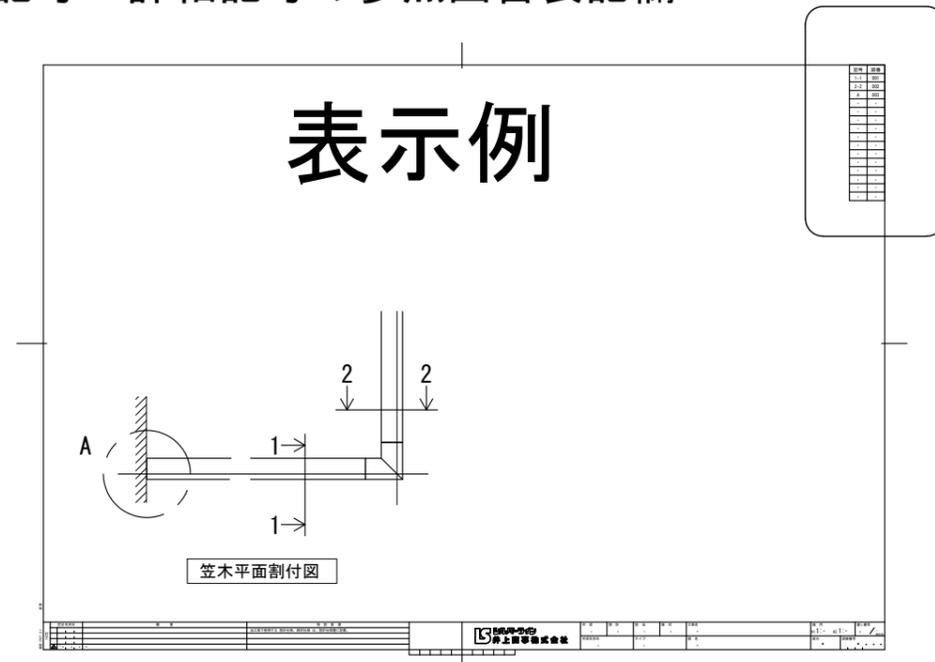


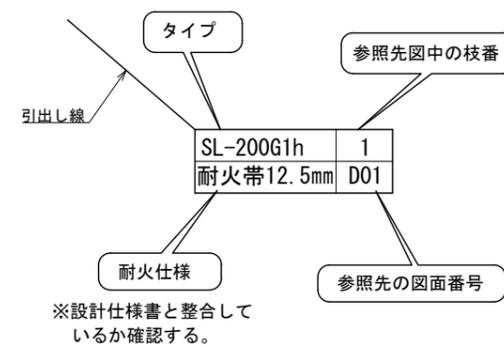
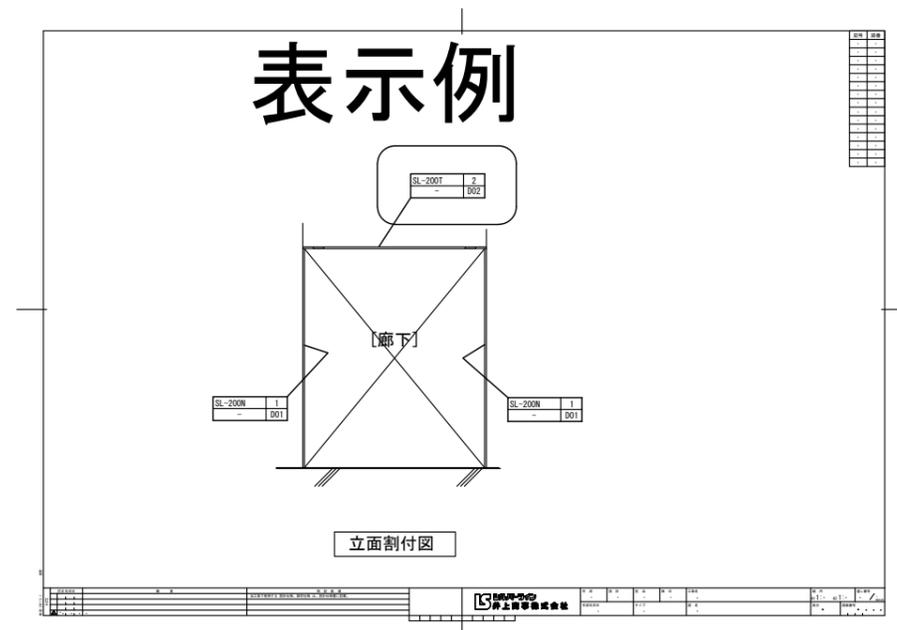


断面記号・詳細記号の参照図番表記欄



※ 図枠様式の右上隅に配置する

EXP. J. C 表示記号の参照図番表記欄



※設計仕様書と整合しているか確認する。

※EXP. J. C表示記号にて参照先の図番を示す場合は、断面記号・詳細記号の参照図番表記欄には記入しない。

- ※EXP. J. Cの対象物と表示記号を引出し線で結ぶ。
- ※EXP. J. Cのタイプを記入する。
- ※耐火帯仕様の場合は、下表より選択して記入する。
- ※参照先の図面番号を記入する。
- ※参照先図面中の枝番を記入する。

耐火性能表

耐火性能	耐火帯仕様
遮炎性能	耐火帯12.5mm
遮炎+遮熱性能	耐火帯25mm

笠木 表題欄

取付場所		箇所数	
2F 屋上		1箇所	
製品区分		色	
笠木		ステンカラー	
受けプレート個数と固定間隔			
タイプ	個	定尺 3m	
SL-225	4	@ ≤ 1300mm	
SL-350	5	@ ≤ 900mm	
SL-400	6	@ ≤ 866mm	

個数を記入する。

固定間隔を記入する。

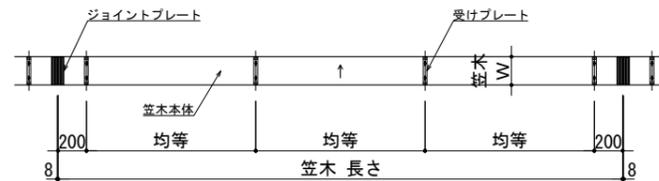
※受けプレート個数と固定間隔を記入する。

1. 受けプレートの個数

「笠木強度確認書」より、笠木1本を固定するのに使う受けプレートの個数を求める。  
 ※) 耐風圧及び耐積雪の強度確認により固定金具の個数が多い方を適用する。  
 ※) 「笠木強度確認書」は、当社ホームページより入手のうえ使用する。  
 ( URL : [www.inoue-s.co.jp/tools/](http://www.inoue-s.co.jp/tools/) )

2. 受けプレートの固定間隔

受けプレートの固定間隔は、笠木の両端から200mm入りの位置より均等割付けした際の間隔を以下とする。



[固定間隔の算出式]

$$\text{固定間隔} = \frac{\text{笠木長さ} - (200 \times 2)}{\text{受けプレート個数} - 1}$$

※タイプ種類の多数により行数が不足する場合は、任意で行数を増やして使用する。

手すり 表題欄

取付場所		箇所数	
.		.箇所	
製品区分		支持工法	
手すり		.工法	
		本体色	
		.	
タイプ			. (WE-010)
			. (WE-011)
			. (WE-203)
特記			

手すりユニットタイプを記入する。

木目調の場合は、該当箇所に○印をつける。

※該当箇所に ○ 印をつける

※タイプ種類の多数により行数が不足する場合は、任意で行数を増やして使用する。

EXP. J. C 表題欄

※EXP. J. C のフォルダ及びアンカーの固定間隔を記入する。

【外部用】

外 部	取付場所		箇所数	
	X7通り 1F~2F		1箇所	
	製品区分		色	
	EXP. J. C		シルバー	
	フォルダ個数と標準固定間隔			
	タイプ	個	定尺 3m	個
SL-200G	6	@ ≤ 560mm		
SL-200GC	6	@ ≤ 560mm		
SL-RCW 540	6	@ ≤ 560mm		

個数を記入する。

固定間隔を記入する。

※「設計風圧」より固定間隔を算出

外部	「製品強度計算ツール」より確認して記入する。
内部	フォルダ又は、アンカーの標準個数を、カタログ P103~110, 191~198 より確認し、固定間隔を算出して記入する。

[内部 EXP. J. C 固定間隔の算出式]

$$\text{固定間隔} = \frac{\text{EXP. J. C 長さ} - (100 \times 2)}{\text{フォルダ 又は アンカー個数} - 1}$$

[算出例] SL-200N (内壁-内壁) の場合

条件	算出式	結果
定尺 3m フォルダ 個数 6個	$\frac{3000 - (100 \times 2)}{6 - 1} = 560$	@ ≤ 560

【内部用】

内 部	取付場所		箇所数	
	X7通り 1F		1箇所	
	製品区分		色	
	EXP. J. C		シルバー	
	フォルダ 又は アンカー個数と標準固定間隔			
	タイプ	個	定尺 3m	個
SL-200T	6	標準@ ≤ 560mm		
SL-200N	6	標準@ ≤ 560mm		

個数を記入する。

固定間隔を記入する。

※「カタログ表示個数」より固定間隔を算出

※タイプ種類の多数により行数が不足する場合は、任意で行数を増やして使用する。